

平成 30 年(2018 年)10 月 30 日

温泉地を活用したまちづくりに関わる皆様  
長野県地域振興局長 様

一般社団法人長野県観光機構  
事業統括本部長 内田 孝雄

平成 30 年度温泉地 Re デザイン研究会(第 2 回)の開催について(通知)

日頃より当機構事業の推進につきまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度当機構では、長野県からの受託事業としまして、温泉のみならず多様な素材や関係者と連携し、新しい温泉地での過ごし方を検討・提供する「温泉地 Re デザイン事業」を実施しております。

9 月 25 日に開催しました第 1 回研究会に続き、第 2 回目の研究会を下記のとおり開催しますので、お忙しいところかと存じますが、ご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

記

1 研究会の目的

延べ宿泊者数、宿泊額の減少が喫緊の課題となっている中、「温泉」という観光資源をいかに旅行者ニーズに合わせて活用していくのかを考え、特に、急増するインバウンド、需要の高まりが期待される若い女性層や単独旅行者をターゲットとし、まちづくりの視点や長野県の強みである「大自然」との連携を含めた、新しい温泉地の過ごし方を検討する機運を醸成する。

第 2 回研究会では、実際に長野県内温泉地に訪れたことのある方と意見を交わし、旅行者のニーズに合った取り組みを検討する。

2 開催日時・場所等

日時	時間	場所	定員
平成 30 年 11 月 21 日(水)	13:00~16:40	松本市勤労者福祉センター 2-2会議室	30 名

3 参加対象者

- ・温泉地及び周辺の宿泊・飲食・小売等の観光事業者
- ・商店街活性化やまちづくり等の活動に取り組む若しくは関心のある者
- ・日本版 DMO 及び DMO 候補法人、観光協会、旅館組合、行政担当者等の観光に携わる者

4 パネルディスカッション

**【ファシリテーター】** (一社)長野県観光機構 地域 DMO 推進コーディネーター 木村 宏

北海道大学特任教授。リゾート開発、ホテル経営会社の勤務を経て、宿泊施設の経営、飯山市のグリーンツーリズム事業等の観光まちづくり事業の推進に尽力。2017 年度温泉まちづくり研究会に研究アドバイザーとして参加し、登別温泉、阿寒湖温泉等の研究に関わる。

**【パネリスト】** 温泉ソムリエマスター eri 様

<http://onseneri.com/>

**【パネリスト】** 女子目線温泉ライター/旅行ナビゲーター 泉よしか 様

<https://www.travel.co.jp/guide/navigtr/737/>

**【パネリスト】** (一社)長野県観光機構 プロモーション担当 アンソニー・ブレア・ガーディア

<https://www.facebook.com/gonagano>

※ パネリストの詳細なご紹介は別紙をご覧ください

## 5 研究会内容

時間	内容	講師等
12:30	受付開始	
13:00	開会/あいさつ	
13:10～ (100分)	<u>パネルディスカッション</u> テーマ:「こんな温泉地なら行ってみたい！」	ファシリテーター 木村 宏 パネリスト 温泉ソムリエ eri 様 パネリスト 泉よしか 様 パネリスト アンソニー・ブレア・ガーディア
14:50～	<u>休憩</u>	
15:00～ (60分)	<u>グループワーク</u> ・テーマごとに分かれブレスト形式でアイデア出し ・グループ内で一押しアイデアをさらに深めて発表	テーマ(案) 《泊食分離》 《朝活》 《ナイトライフ》 《滞在時間》 《その他》
16:00～	<u>発表</u>	
16:30	質疑応答/閉会	

6 参加費 無 料

## 7 その他

(1) 参加いただける場合は、別添「参加申込書」により 11月12日(月)までに担当者あてメール又はFAXにてお知らせください。地域の関係者が合同で参加していただくことも可能です。

様式はこちら⇒[https://www.nagano-tabi.net/sc/kyokai/data/onsen\\_sanka2.doc](https://www.nagano-tabi.net/sc/kyokai/data/onsen_sanka2.doc)

(2) パネルディスカッションでは、コーディネーターとパネリストが中心となり、テーマに対するそれぞれの思いや考えを議論します。この際、参加者の皆様からのご意見やご質問でパネリストが議論する機会を設ける予定でおりますので、奮ってご参加ください。

(3) グループワークでは、テーマごとにグループ分けを行い、テーマに沿ったアイデアを出していただきます。ここで出されたアイデアは、今後の研究の参考にさせていただきたいと思っておりますので、今現在やりたいと思っていること、どうせやれないと諦めていたこと等、幅広いアイデア出しをお願いします。

(4) 今後のスケジュールとして、より具体的な取り組みの推進に向け、テーマをさらに深めて研究する地域を募集します。応募いただいた地域には、当機構アドバイザーを派遣し、地域でのワークショップ開催や具体的なアドバイス等の支援を検討しています。詳細は別途お知らせします。

(一社)長野県観光機構 DMO 形成支援センター  
センター長:内田孝雄 担当:松本 翔  
〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2  
TEL:026-217-7205 / FAX:026-217-7331  
E-mail:dmo@nagano-tabi.net

(別紙)

## 第2回 温泉地Re・デザイン研究会 パネリスト

### ○ 温泉ソムリエマスター eri 様

旅行会社に勤務し、国内温泉地を中心とした旅行のプロデュースや広報を担当している。

「温泉ソムリエ」、「温泉観光士」、「温泉ソムリエマスター」、「温泉観光実践士」等の資格を所有し、自身が運営するサイト「美肌温泉手帖」では、温泉に関する様々な情報を発信している。

サイト内の「温泉入浴レポート」では訪れた全国の温泉レポートを掲載しており、長野県内の温泉地も多数訪れている。



### ○ 女子目線温泉ライター/旅行ナビゲーター 泉よしか 様

LINE トラベル jp のナビゲーターとして全国の旅行・観光ガイドを掲載している。

「温泉ソムリエマスター」、「温泉観光実践士」等の資格を所有し、家族・子連れ旅行者目線から全国の温泉地や旅館の紹介・レポート記事を掲載しているサイト「子連れ温泉ガイド地熱愛好会」を運営している。

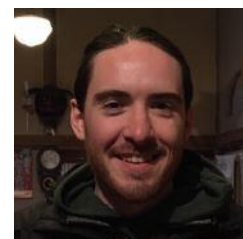
長野県内では 98 件の温泉地や旅館を紹介・レポートしている。



### ○ アンソニー・ブレア・ガーディア

アメリカ合衆国メリーランド州の出身。

(一社) 長野県観光機構のプロモーション担当として、長野県各地取材し、ブログ等により海外に向けて県内の観光情報を紹介・発信している。



# 会場案内図

会場：松本市勤労者福祉センター 2-2会議室（松本市中央4丁目7-26）

電話：0263-35-6286

<位置>



<周辺図>

